

## 5. UAV点検の間隔

UAV点検は通常点検と同程度の成果は得られないが、安価で効率的なため、通常点検と組み合わせて砂防施設の管理を行う必要がある。

・1回目点検：通常点検 → 2回目点検：UAV点検(簡易点検として砂防施設の大きな損傷の進行が無いかを主に点検) → 3回目点検：通常点検

通常点検だけでは点検コストがかかりすぎるため、UAV点検を組み合わせることで大きな損傷の進行を把握しながら、全体の点検費を減少させる。

UAV点検の効果的な点検間隔を検証する。

## 6. 砂防施設の規模

UAV点検は砂防施設全体の損傷把握には適していると考えられるため、大規模な砂防施設程効果は大きいと考えられる。

### § 2. UAV点検の点検手順

#### 1. 調査箇所の写真測量(マビック2 エンタープライズ：機体重量 905g)

<https://www.dji.com/jp/mavic-2>

マビック2は機体重量が905g程度の小さな機体なため、離着陸スポットも小さくてすむ。

自律飛行の飛行計画を立案、GPS受信状況の確認と飛行計画を作成するための写真測量を行い、三次元で地形を確認する。

- ・砂防施設の位置把握
- ・樹木の繁茂状況
- ・GPS受信状況
- ・沢の線形
- ・GPS受信状況を考慮した離着陸スポットの選定

